

## 平成30年度 第3回スポーツを通じた地域振興推進委員会 会議録

日 時：平成31年2月26日（火）13時30分

場 所：鴨川市文化体育館2階会議室

出席者：花山藤太郎・山下洋介・高橋松吉・鈴木健史・島田誠一・安田景憲・河合幹雄・渡辺淳一・清水宣雄・江羅茂・森谷宝子・佐藤翔太・里見美佳・北本綾子・小川直久・瀬戸川賢二

事務局：鈴木スポーツ振興課長・鈴木課長補佐・岡野コーディネーター・関・庁内プロジェクトチーム員・(株)ミライノラボJV

### 1. 開会（13時30分）

#### 【事務局】

それでは第3回鴨川市スポーツを通じた地域振興推進会を開催させていただきます。会議資料は鴨川市スポーツを通じた地域振興基本計画でございます。

本日の会議でございますが、実施要領によりまして公開ということになっております。なお会議録につきましては個人情報等を除いた概要版に公開することとさせて頂いております。

では、議件に入ります。本推進委員会の設置要領によりまして、議長を花山委員長にお願いしたいと思っております。

#### 【花山委員長】

それではただいまから議長を務めさせていただきます、花山でございます。よろしくお願いいたします。それでは着座にて進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

はじめに本日の会議録の確認をして頂く委員を決めさせて頂きたいと思っております。その方法は私から指名させて頂くことでよろしいでしょうか。

（一同了承）

#### 【花山委員長】

はい、ありがとうございます。それでは会議録の確認については、森谷宝子委員を指名させて頂きたいと思っております。

次に、議事に移ります。次第によりまして議件の(1)鴨川市スポーツを通じた地域振興基本計画案についての事務局の説明を求めます。

【事務局】

(事務局から計画書概要版について説明)

【花山委員長】

概要版について何かご質問がございましたらお願いします。

(質問はなし)

【事務局】

それでは続きまして計画書の具体的な中身についてご説明をさせていただきます。

(事務局から計画書第1章について説明)

【事務局】

何か質問はありますでしょうか？

【清水委員】

章の前の表紙について以前と変わったことについてお聞きしたいのですが？

【事務局】

最初のタイトルの所ですね。今まで出させて頂いたタイトルがまずどこがタイトルでどこが副題か分からないというご指摘がかなりありまして、新産業と雇用の創出という言葉も入れていたんですけども、その部分についてカットさせて頂いて、あくまで計画のタイトルは鴨川市のスポーツを通じた地域振興基本計画として、副題としてスポーツビジネスによるウェルネスシティ鴨川の実現という言葉に変えさせて頂きました。

【清水委員】

いただいた所でお聞きしたかったのが、スポーツビジネスでまちを元気にする所のまちがあえてひらがなになっているので、なぜ、ひらがなになっているのだろうと思い聞きたかったのですが、今回消えてしまったのでそこについて知りたかったのですが。

【事務局】

実はまちというのはですね、様々な実施計画を立てるときに漢字で街と書く場合もありますが、最近ひらがなでまちと書く場合の方が割と多いのかなという感じがします。なぜかというと確固としたものは無いですが、漢字の街は、人口が集中している市街地としての街のイメージが強いので、そうではなくて、コミュニティのかたまりとしてのイメージを伝えたいという意味で、ひらがなのまちの使用が増えているので、今回もひらがなのまちの方が相応しいかなという風に考えております。

【清水委員】

その説明は非常によく分かります。しかし、漢字が一目で見て分かることを考えれば、ひらがながあまり続いてしまうのはどうなのかな？ということを感じてしまうのですが。市長のはじめにという所で、まちが全てひらがなになっているが漢字の間に使っているので一つのワードとして全く問題ないと思うのですが、文章の中で使う場合は「」を付けるなどした方が意味が伝わるのではないかなと思います。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。適宜読みやすいように使い分けをしていきたいと思います。

【花山委員長】

記録に残す関係上、質問をなさる方はご自分のお名前を言ってください。よろしくお願い致します。

【事務局】

それでは続きまして第2章の説明に移らせて頂きます。

(事務局から計画書第2章について説明)

【事務局】

ここでご意見等ございましたらお願いします。

【渡辺委員】

確認なんですけど、8ページにある文化は何を指すんですか？スポーツ文化なのか、歴史文化なのかという意味合いなんですか？そういうコンテキストで鴨川を考えた場合、どういう風に理解しなければいけないんだという所を教えてください。

【事務局】

ここで言う文化はおっしゃるとおり2通りの意味が入っています。実際に国の施策の中でも文化庁というのが出てきている部分は文化遺産的なニュアンスが非常に強くなっています。ただ、文化遺産というものだけで切ってしまうと、文化とスポーツと観光とを融合させることは出来ないんです。

ものすごくそれが問題になっていて、文化庁だけに文化をやらせていたら観光資源にならないなという所があって、ここでいう文化はとても幅広い意味の文化になっています。平たく言うと暮らしそのもののまで広がっていったとお考えになられたらいいと思います。

そうは言ってもやはり観光といったときに文化遺産は重要な観光資源になりますから、それは捨てる訳にはいかないということです。国の施策には大きな文化と小さな文化両方入っているとお考え頂いて、ただ鴨川の場合、まずは暮らしそのもの、生活文化というように捉えて頂くのがいいと思います。

もちろん文化遺産的な文化を排除するということではないのであえてそこに関しては詳しく説明しておりません。

【渡辺委員】

ありがとうございます。

【花山委員長】

どなたか他にありますか。無いようなので次に3章の説明をお願い致します。

【事務局】

(事務局から計画書第3章について説明)

【花山委員長】

3章について何かご意見があればお願いします。

【鈴木委員】

2点ございます。製造業が少ないので第一次産業の産物が付加価値を持って消費されてないのではないかとご指摘がございましたけれども、私が考えるのは、農産物水産物、あと、旅館で飲食という加工を申し受ける形で消費者に届けられているというのが地域の特性なのかなと思っています。

製造業が少ないからと言ってそうでも無いなど。つまりスポーツを通じて宿泊業・飲食業が潤うことによって地域の一次産業の産物が付加価値を持って提供できるということが一つ視点としてあるだろうなと思いました。

2点目は、戦略を考えるにおきまして総合運動施設の使用料収入の状況というのがございますけれども、ここを市外の利用と市内の利用に分けてデータを整えて比較してみることが必要なんじゃないかなと思います。つまり、ほとんどこれが市内利用であるということでありまして、市外利用の人口流入に寄与しにくいということになる訳でございましてここを増やして市内への人口流入を増やしていこうじゃないかということであるならばある程度その辺のバランスを考えた施策が必要なのではないかという次第です。

【事務局】

ありがとうございます。非常に有効な視点をいただいたと思っております。もちろん旅館や宿泊等での消費も相当数あるであろうなという風には考えております。ただそれもちょうともったいないかなと思っています。もっとポテンシャルがあるんじゃないかなろうかと考えています。

使用料に関して、ご意見ごもっともだなと思います。今回計画書にはあえて書かなかったんですが、実は全国の運動施設の一人当たりの利用料はどこもだいたいそんなものです。スポーツ施設の使用料だけで本当に収支を合わせていくことが出来るのかというと難しいなということを思っております。

それを計画書に書いてしまうのはやりすぎだと思っています。なぜかというスポーツコミッション、あるいは施設運営の委託をどうしていくのかということを多少自由度を持って考える余地を残していかないとちょっと間違った方向に行ってしまうとまずいと思うのですが、ご指摘は全くそのとおりで、これを実際に実行に移していった場合に変更が必要になっていくだろうなと思っています。ありがとうございます。

【清水委員】

鈴木委員と同様なことを思っていました。次のページの8月に利用者が多い方で、釣りとかサーフィ

ンとかは絶対数は少ないんですが年間を通して安定していると。その辺のことを考えると、もしかすると海というのがある意味鴨川の特徴だと思うのですが、海というのを強調し過ぎると7,8月にイメージが限定されてしまうようなことがありますので釣りやサーフィンの他にどのようなものがあるか分からないですけども、むしろ海＝夏ではなくて1年中を通してPRできるようなことを考えていく必要があるのではないかとこのように思います。

あともう一点、合宿に対するニーズの調査結果という所なんですけど、気になりますのは合宿利用については学校等との信頼関係を継続し、という所である意味固定客ということだと思うんですけど、あまりにここだけにこだわってしまうと、広がらないというか新しい学校や団体の流入がしにくいというデメリットも考えられるだろうと思うので、その辺をどうバランスを取っていくのかという所が非常に気になった点です。

#### 【事務局】

ご意見ありがとうございます。

#### 【渡辺委員】

教えて頂きたいんですけど、13ページの月別1日当たりの観光入込客数で自然公園アクティビティというのは具体的何を指すかという所が一点です。もう一点は清水委員もおっしゃった合宿なんですけど、宿泊施設について記述が無いんですけど何か調査があるのかなど。

#### 【事務局】

まず入込客数ですのどの場所に何人くらいが来たかというもので場所によってはいろんな計算をしているということです。自然公園アクティビティというのは〇〇海岸に行ったとかですね、〇〇公園に行ったとか体育をしたとかそんな空気になってます。ちょっと分かりにくいですが、すごくいろんな細かいものがあったのでこういう形になりました。

合宿は市外の場所も含めての話になってます。実際に学校とかが持っている合宿所とか寮とかの話もごきますし、具体的にどこに泊まったかというのは回答の中には無かったことなのでそこまでは分かりません。

#### 【瀬戸川委員】

ちょっと一歩引いた立場からお話をお伺いすると、市営の施設の収支をどれだけ改善するかがスポーツコミッションの最初の大きな象徴として対外的に取られるんじゃないかなという印象を持ちまして、そこでちょっとお伺いするんですけど、そもそも、この利用収入とか出てるんですけど利用率とか稼働率とかはどれくらいなのかということが一点です。

あと16ページの一番下から3行目で今後収入を増やす手段としてサービスの充実、利用率の向上、使用料の見直し、広告収入等をあげてらっしゃいますけど、現時点で実際にイメージされているものがあるのか、あるいはこれからこういったご検討をされていくものなのかをお伺いできればと思います。

【事務局】

まずですね、稼働率という形でお示しするのは難しいんですね。稼働状況というのは利用人数からお考え頂くのがいいと思ってます。もちろん、予約状況から見た稼働率というのはデータが揃っています。決して稼働率が低い訳ではないです。

あともう一つですね、収入の所で言いますと、方策としてどういうものがあるんだということですが実は後ろの方で具体的な事例をお示ししています。自由度を持って事業を進めていくためにスポーツコミッションを設立しているので事前の計画書にこれをやりなさいと決めてしまうと、それだったら市がやれば良いじゃないかとなりかねないと思うので、事例の所で例えばこういうことをやってますよという所をお話ししますが、先ほど一人当たり 120 円というのを増やしていくのはなかなか難しいですよということに対してどうしてるかということ、実は他の施設ではスポーツ施設の使用料以外の収入を増やしていくような動きになっています。

私見を申し上げますが、そこにヒントがあるんだろうなと私も思っていますし、おそらく大きな流れはそうだろうなと思っております。収支の改善そのものとなるとやはりスポーツコミッションのミッションとしてしまうとそれは重すぎるのかなと思っています。もちろんそれをどのようにしていくかということは今後この運動施設をどういう風にしていくのかという市の施策にも関係してくることだと思います。

【鈴木課長】

補足といいますか、市としてお答えできる部分がございますので若干お答えさせて頂きたいと思えます。ご指摘のとおり、利用率、稼働率は大雑把に言うと平日の昼間の稼働率は極端に少なくなっています。ですので、これからその部分をどうしたら良いかという問題、あと料金の見直しということですが消費税のアップに伴いまして検討させて頂くというお答えをさせて頂いております。現在検討している最中ということになります。また広告収入につきましても例えばいろんな所に広告を付けるとそういったことはすでに可能であるとは考えております。しかしながら、そういったものを効率よく行うには市の力というよりもスポーツコミッションを通じて検討していくものが大きいのではないかと考えております。市は今そういった状況でございます。

【事務局】

(事務局から計画書第4章について説明)

4章に関しまして何かご質問等あれば。

【鈴木委員】

鈴木でございます。22 ページに「地域振興に導入する資源と活動 ヒト・モノ・カネ・コト」という文言がありますが、ぜひここに「情報」というものを入れて頂きたいなと思えます。タイトルが「スポーツビジネスによるウェルネスシティ鴨川の実現」とビジネスが入っているので、良いコンテンツを作ってもそれを配信しないとビジネスになりません。

コンテンツ作りと同様にいかに情報を配信するかにおいてこのアクションプランにぜひ加えて頂きたいなと思います。今回の目的としまして、観光流入人口への情報の配信と移住人口への情報の配信、それから住民サービスの視点から定住者への紹介の3つに分けられると思いますが、具体的にどのように情報を配信してビジネスにしていくのかということが、このアクションプランに求められるのではないかと考えています。

#### 【事務局】

「情報」というのは確におっしゃるとおり、大切なことですのでここにどのように入れるかということを検討して何かしら反映させていきたいなと思います。

#### 【清水委員】

清水でございます。今の鈴木委員もおっしゃった情報に近い部分もあるのですが、スポーツを「観る」、「観るスポーツ」という観点から考えますと、例えばサッカーをかなりやりこんだ人であれば、オルカの試合を観て、サッカーの素人の人に比べれば、もう何十倍も楽しめると思います。それから一人ひとりの技術であったり、戦術であったりということを分かっている人間は面白いと思います。

しかし、そうでない人にしてみると楽しさというのはごく一部だと思います。そういう意味では、スポーツの楽しさ、面白さを伝えてくれる、あえて付ければ「スポーツインタープリター」といった人がいるとより面白さを伝えることが出来ます。あそこに行けばあまり知らないけどスポーツの面白さがしっかりと伝わるんだという組織があれば一つのゲインになるのではないかなと思います。

それと関連して、じゃあそれをどのように伝えるか。例えば、私も観に行ったことがあります、オルカの試合があって、その日に松木さんがいらしていろいろ盛り上げてくださるのですが、試合中観戦している分には松木さんの面白さは伝わらないです。でもあそこで松木さんが実況をもって解説をしてくださればそれを観客が聴く術があればもっと楽しめるのではないかな。そういう意味でいえば、例えば放送局や、Wi-Fiの環境を充実させるのが一つの方法ではないかと思っています。

もう一点、主観的なことで申し訳ないんですが、この中で司令塔という言葉が入ってあります。最初の所にある「戦略的推薦」の所であれば司令塔という言葉も「まあそうだよな」という風に分かるんですが、そうでない所例えば46ページの「スポーツの活性化に繋がる司令塔」という風に使われてしまいますと、個人的には抵抗があります。もっと何か良い言葉が無いのかなと考えてみているのですが、ぜひ検討していただけたらと思います。これはこれで全くだめということではありません。出来ればもっといい言葉があればということです。以上です。

#### 【事務局】

情報についてはもう少し何か深掘りしたものが反映できるか検討させて頂きたいと思います。司令塔、なかなか悩ましい所ですが、それも合わせて検討させて頂きたいと思います。

#### 【渡辺委員】

清水さんの所でもお話しがあった、22ページの「総括する司令塔が必要である」という形と23ページの「期待される地域振興でアウトターの方がいいかインナーの方がいいか」という形で、「住民の健康と

幸せを最大化する地域資産形成型政策」という表現になっていて、すごく全体的に硬いというか、地域経済をやられた方からしたら、かなり正しいまとめ方だとは思いますが、つまりどういうことかというと実際にスポーツを通じたまちの活性化をやろうとした場合、いろいろな場面で議論があると思います。市と関係者だったり、先ほども清水委員がおっしゃっていたとおり、実際にスポーツをやられている方と接している人たち、市民団体だったり。いろいろな議論する場があって、その中で議論をすることを通じて合意形成が図られたり、価値が生まれたりというのが現実のプロセスだと思います。そこを完全に底無しで地域経済的考え方でやっていることが、司令塔という言葉に集約されているのではないかと私は清水委員も同じように危惧します。

いろいろなアスリートと議論する場があってそこがいろいろな価値が生まれてくる。つまりここで言う「住民の健康と幸せ」というのは、資産を形成することとはちょっとニュアンスが違って、そこはやっぱり誇りであったり、幸せだったり、ということになります。それと価値であったり、意義意味であったり、ということ。それは多分学術的見解の違いによってこのような記述だったけど、それぞれの学術的な面で正しいんだけど、じゃあ現実には何が起こるのかというプロセスを考えるとそんな簡単にデータでどんとはいかない訳です。

いろいろな場面で議論があって、「やめた」とか「やってられないよ」とかいろいろなことがある訳です。そのプロセスを踏まえていく現実とするのであれば、そこに対してやっぱり資産だという言葉ではなく価値だったり意味だったりということ。資産は含まれる。ここを埋めていかないとなんか特段的な従来の一つの形を作ればいいんじゃないかを感じるということです。いかがでしょうか。

#### 【事務局】

インナー政策効果って何ですか？という一般的な説明を書かせて頂いています。地域資産というのは実際、意味とか価値とか全部包含したものであって、金銭的なもので換算されないもの全て、自然環境も含めて地域資産としています。分かりにくいということであれば表現について見直していきたいなと思います。

#### 【渡辺委員】

最大化する地域資産形成、資産丸ごと価値形成という見えないものに対してもちゃんと見ますよというメッセージに繋がる。資産だけだとやはり経済学で言うキャピタルという形にしか捉えられない。

#### 【事務局】

ソーシャルキャピタルですね？経済学で言ういわゆるキャピタルじゃない、ソーシャルキャピタルとしても資産…

#### 【渡辺委員】

これを分かりやすくするためにソーシャルキャピタルはなんで生まれてくるのかという訳です。それはかなり目に見えない中のアウター間でやりとりする中で生まれてくる価値であったり意味であったり、かなり流動的なものですから。それを分かりやすく言ったらそれは多分地域経済的には正しい表現だと思うんだけど、というだけの話です。



【事務局】

なるほど。分かりやすく。検討したいと思います。

【花山委員長】

他にどなたかご意見ありますか？無いようですので次に進みます。

【事務局】

(事務局から計画書第5章について説明)

【清水委員】

これは市の方にお答え頂くことかもしれないんですけども、利用者に対する補助といったときに減免といったやり方と、それから例えば団体が使用した場合に、団体に対して補助を出す方法の2つがあると思うのですが、それは市の方としては2つの方法で例えばプランは変わりあるんでしょうか。どちらでも全く問題ないのでしょうか。例えばそれを扱う部署が変わるとか、予算の組み方が全く変わってしまうとか。そのあたりはどうなのでしょう。

【事務局】

特に減免だからといって変わることは無いです。

【清水委員】

予算の出処も変わらない？

【事務局】

変わらないです。

【清水委員】

であるとするならば、これは私の提案ですけども、減免という形を取ると、実質使っていなくともそこを抑えてしまうということが簡単に出来てしまう訳です。申し込みだけしておいて何曜日の何時から何時まではこの誰が使いますよって取ってあるのですが、いざ行ってみたら1人2人でほとんど活動していないとかということがあり得る訳で、そこに新たなものを入れることが出来ません。

でも、例えば市内は別としても、今まで減免を受けていた団体が使用する。実質使用した金額に対して市から補助金が出ます、それなりの手続きをしてもらって補助金が出ると、少なくとも1人2人、あるいは活動はしないのにそこを取るということはある程度阻止できると思います。そうすると運営をやっていく事務にとっても、まあ有意義なのではないかなと思います。

もし、予算等が変わらないのであればある程度手続きをして頂いた上で、その団体等に対して補助金を出すといった形をされた方がいいのではないかなという提案です。

【事務局】

今現在ですと、社会体育団体、社会福祉団体、官公庁が概ね半分減免ということでやっています。市

主催ということでしたら、100%減免ということになります。その団体を問わず、6か月間予約が出来て、申請書をいただいて、1週間、使用日の1週間前までは20%のキャンセル料がかかります。それ以降になってしまうと100%のキャンセル料がかかってきます。

【清水委員】

私のイメージが、小学校の体育館とかそういう所全部イメージです。今、もともと使っている所…

【事務局】

そこでお金を取った場合…

【清水委員】

そういうイメージです。ここだけの話ではありません。ご検討をお願いします。

【事務局】

そちらでしたら検討させていただきます。ただ、補助金というのはちょっと事務の手続き上難しい。

【清水委員】

ですから一番最初にそれをお聞きした…

【事務局】

ちょっとテクニカルな問題になるかと思いますが、おそらく今後の課題になると思います。今これ指定管理者制度のお話させて頂いたことから申し上げますと、指定管理者制度というのは、言ってみれば民間が運営しているということです。当然代金は公共並みの安い使用料金かもしれませんが、運営は民間です。

【山下委員】

体育施設の最近の利用料とか、今、指定管理がどうなっているのか、視察に3年くらい前に鴨川市で行った先で、NPO法人とのですが、そのときは確かに非常に活発的にやってらっしゃった、お話があった、いろいろな評議の問題だったり予約の問題等々である意味衰退していると思います。

そのときだけ人を集めて管理をする、終わってしまうといないと。それは人件費の削減でいろいろ考えているのかもしれませんが、これだけの施設を指定管理制ということになると、大変問題が起きてくるのではないかなと思います。今までの流れから考えて。もっともっといっぱい今空いた学校の利用を利用者の立場からもっと考えて、それからこういった動機付けをして学校を運営、管理していこうか、空いた所を利用していくか、そしたら料金の問題も出てきます。NPOに僕は賛成できないなと現状では考えております。以上です。

【事務局】

NPOは決まった訳ではないので、その方法を検討していくということでもありますから。今後その議論は来年度以降となります。

【瀬戸川委員】

我々の少ない経験を共有させていただきますと、30 ページで経済波及効果というのがありますけれども、我々もサイクリングのツアーをやっておりまして、ここで食事も食べてもらって泊まってもらいたいと考えています。やっぱりそこよりも潜在的な可能性で南房総が大きいのは例えば首都圏のインターナショナルスクールの先生たちがツアーに参加して、こんなに素晴らしいと。修学旅行、学年旅行が決まって毎年やってもらっているのが毎年2件あります。生徒数で言うと40名くらいなのですが100万くらい。昼食に置き換えると1,000人分になります。そういったことを考えると、当然直接的な効果も狙うのですが、それ以外の学校旅行やヘルスツーリズムに絡めた福利厚生旅行だとかシェアオフィスなど。当然これからメインでいращやる移住の促進だとかそういったことがあります。

サイクリングの場合は高橋監督もよくご存知なのですが、ガイドがついて5、6人くらいで走るのもそういった情報とかニーズを吸い上げて繋がられます。先日も参加者の中に古民家ばかり見ている人がいて、「なぜ見るんですか？」と聞いたら、実はもう引退間近で、引退したら古民家を改修しながら余生を過ごしたいんだと。今までずっと四国に下見に行ったりしたのですが、ここにゴロゴロとある訳です。それで今そういったワークショップを開催したりしてご参加されている。そのまま移住に繋がればいいのかなと思います。サイクリングの先進地いろいろと視察に行っているのですが、南房総の潜在的な可能性なものすごく大きいと思っています。

おそらくスポーツコミッションにも同じようなことが当てはまると思います。残念ながら団体でこられた方の情報をどうやって吸い上げるのか。今は思い浮かばないのですが、そういった仕掛けや仕組みを念頭に置きながらいろいろ誘致をされるといいんじゃないかなと思います。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。それはまさしく検討チームの中でもそういう議論がなされている。よろしければ、アクションプラン…

【花山委員長】

ちょっとすいません、私委員長なんですけど委員に戻らせてもらって、31ページの大学の欄にせっかく鴨川市に現存している施設がありますので、東洋大学と早稲田大学を追加しておいてもらえませんか。

【事務局】

大変失礼しました。

【事務局】

(事務局から計画書第6章について説明)

最後にご意見ご質問等あれば。

【高橋委員】

スポーツコミッションを作るにあたって、ぜひお願いがあるのですが、地域からトップアスリートを作るようなそういう体制を、普及育成強化と。今、オルカさんがあるので、一つはあると思いますが、

他のスポーツだったりそういったものを見据えて作ってもらえたらなと思います。そうすることによって鴨川というのが日本全国に知られると。逆に熱心な所に他の団体さんが呼び込めると思います。よろしくお願いします。

【委員】

簡略的に質問致しますけれども、計画の要旨につきましては大筋分かりました。それからコミッションの設立の必要性についても分かりました。今日会議後コミッションの設立までのスケジュールについて説明できる範囲で教えて頂きたい。

【事務局】

あくまでも予定なのですが、これにつきましては今のところ並行して進んでおります。目標的には、4月までには形を作りたいとは思っています。そしてご承知のとおり、交付金が今年を含めて3年間になるのですが、その間になるべく自走が出来るような組織に育て上げたいと考えています。

従いまして、これもまだ予定ではあるのですが、法人を作るにあたって、株式や NPO、一般社団法人といったものの中でやはり一般社団としてある程度収入を見込めていけるようになっていければと思います。

【委員】

アクションを起こさないで年月だけ経ってしまうということの無いようにぜひお願いします。

【事務局】

これから嫌というほどアクションを起こしていきたいと。

【委員】

ぜひ、よろしくお願いします。

【渡辺委員】

本当に全体的によくまとまっていると思います。いろいろな意見があり大変だったと思いますが。そういった中で一つお願いを。37 ページの上の分布の関係からしますと、2022 年から 28 年、中長期に海岸砂浜の有効活用、マリーナビーチスポーツの振興というのを持ってこられちゃうとちょっと困っちゃうなと思います。私どもの5年計画を3年過ぎているんですよ。

あと2年しか無い状況で言葉としては海岸砂浜の有効活用、整備といった形で短期の方に持ってきていただけるとありがたいなと思います。それから、自主的な健康づくりの支援も早急にやった方がいいのではないかなと思うのですが、言葉として支援なのかどうなのかというのはあるのですが、もし有効活用といった形であれば整備を短期でもってきて、中長期で有効活用という形でもいいですけど。5年計画で3年経って何やってるんだと各方面から相当批判を受けていますから、中長期の方にもってきしまうと私も個人的に。それから先ほどの司令塔ですけれども、単純にコミッションを持ってくるという形でも見え隠れしてあれかなとふと思いましたので。余計なことですが。お疲れ様でした。ありがとうございます。

### 【事務局】

ご意見どうもありがとうございました。非常にいい意見もらえまして、私が代表して言うことでもないので、いただきましたご意見をもとに再度ブラッシュアップしたもので説明させて頂きたいと思っています。

すいません。私からの説明は以上とさせていただきます。どうも拙い説明ですいません。ありがとうございました。

(拍手)

### 【花山委員長】

ちょっと時間を過ぎてしまったのですが、委員長からお願いしたいんですけども、サーファーの方がいらっしゃいますので、マリンスポーツという形で出ていますので、ちょっと河合さんか小川さんの方から要望希望になることがありましたら一言お願いします。

### 【川井委員】

実は前は横須賀のチームプロジェクトに入っていて、まずサーフィンというのが、一つの可能性なのですが、あとウェットスーツを着て、鴨川の手、4月から10月。例えばウェットスーツがあれば、海で遊べる。ということはボディボードをやったりもちろんサーフィンをやったりそういうことを出来ますので。シーワールドさんと、例えば午前中はサーフィン、午後はシーワールドさんとか、午後はいろいろ浮かんだものは無いのですが、そういったことで、海に少しでも子どもたち、ある意味修学旅行生とか団体で。個人のお店でやるスクールじゃなくて、海で遊ぶ。そういう楽しさというのを分からせることを今少しずつやっていますので、来月くらいから。

ウェットスーツがあると夏だけじゃないです。逆に夏は皆さん忙しいのであれですけども、4月からゴールデンウィークに入って秋、10月11月くらいまで例えばフルスーツがあると海で遊ぶということが出来るので、そういうことをこのまちでやるとかなり、都会の人を呼ぶのに一番いいです。それ今実行に移りますので、いろいろなこともやっていかないといけないですけども、そういう形で行きますのでよろしくお願いします。

### 【小川委員】

まず川井さんのお話にもあったのですが、3月20日にモニタリング的なテストを委員会でやろうと思っています。今人数も集めてもらっていて、今のところ備品の方も順調に揃えられていて来年の計画に向けて発進している所なのでまずこのモニタリングテストでいい所悪い所を諸々検討しながら活かしていければと思います。

個人的なんですけど、今、東条海岸ありますよね、東条海岸は日本の海岸の中でもすごくサーフィンのやりやすいポイントの一つなのですが、その理由の一つとしては大きな駐車場があることと、トイレとシャワーがあることです。鴨川というのは前原海岸もですけど、駐車場とトイレとシャワーがあります。他の地域はそういった設備がある所は有料の所が多いです。有料じゃないのは鴨川くらいじゃないかと思います。1日500円、1,000円いろいろな所があるのですが。僕ら地元のサーファーからしたら今

までタダで止められている所に 500 円、1,000 円払うのは「うんー」と思う方もいると思うのですが、昔 1 回テストかなんかでやったと思いますが、そうしたらお金を取っているにも関わらず、来て頂いているサーファーが減らない。なので水道代だけでも月 10 万以上かかっているの、それは大きな出費となるので。市の持ち物なのか県の持ち物なのか鴨川の持ち物なのか分からないですけども、そういうことを 1 回やってみたらちょっとでもいい方向に進むのじゃないかなと思います。

【清水委員】

それは施設の利用で取るってこと？

【小川委員】

駐車場利用ですね。他の地域ってほとんど取っています。一宮にしても、有料になっている所が多くて。和田の方に関しては、8 割方有料化になっています。トイレが無い所もあってシャワーが無い所もあってお金を取っているの。だから鴨川ってすごい親切なのです。500 円取っても絶対みんな止めると思います。今日も 100 人以上の方が止めているので。1 日 100 人で 500 円取ったら 5 万円になります。20 日計算で 100 万です。簡単にそのくらい行くと思います。

【清水委員】

多分けどトイレの整備と駐車場の整備は県でしている。あとは管理の方をどのようにされていますか？

【事務局】

整備は県で管理の方が市です。

【清水委員】

冬場の波乗りって冬の季節ってむしろ温水シャワーとかそういう施設が欲しいですね。

【小川委員】

いいと思います。僕も利用したいです。鴨川は水温があったかいです。なので冬の時期北の方からみんなサーフィンしに来るので。鴨川の冬ってすごく見込めます。サーフィンに適していて。

【清水委員】

施設が何も無い。ただ使えばなし水だけって…

【事務局】

ありがたいですけどね。

【小川委員】

ぜひ検討して、どうすればいいのかどうするのがいいのだろうか。

【岡野コーディネーター】

今の件は実は私もいろいろな会議でご提案しているのですが、鴨川市は一言でいえば外貨をみすみす

逃しています。マルキポイント、あとフィッシャリーナは夏場はあそこも有料になっていますが、かつて駅前駐車場、あれも実は夏になれば 500 円徴収していました。一度私試算したことがあるのですが、マルキポイントと市民会館前の駐車場は平日でも平均 200 台くらい回せる駐車場だと思います。皆さん単純に計算して頂くと分かると思いますが、例えば 1 回の駐車料金で 500 円、かける 200 の 365 日を計算して頂くと 4,000 万近い売り上げになります。

さらに、2 回転したとなると 2 倍になりますから約 7,000 万の売り上げになります。つまりそれがスポーツコミッションのプラットフォームになったときにそこにかかる維持費ですとか、そういうものはかなり粗利が高い商売になりますので職員を雇えます。確実に。7,000 万近く売り上げる中小企業ってすごいです。何人雇えます？そう考えると実は鴨川は今までみすみす… 優しい地域なのかもしれないですけど、非常にもったいないことをしていました。今皆さんご存知か分かりませんが、私の神社があるエリアに城崎海岸という海岸があります。実は前原海岸よりも 2011 年の 3.11 以降今どこが入れ込み数が一番多いかという前原海岸じゃなくて城崎海岸なんです。

そこ今、駐車場無料です。シャワーも無料です。トイレも全部無料です。湘南から人が流れて来ています。今漁港も使っているくらい。これも夏場だけでも駐車場 1,000 円取っていいと思います。1,000 円取ったらとんでもない金額になると思います。それがベーシックインカム、安定的な収入になっていきますから。やっと新しいことが出来るんです。新しいことだけをやっていても、ベーシックインカム、収入が無いとやっぱりリスクが多過ぎて、補助金切れたら終わりっていう世界になっちゃう。そこはぜひスポーツコミッションさんの方で考えていただければいいのですが、そういった所は戦略的に市の立場としてもせっかく中間の民間組織を作るのであれば、もっと今までより戦略的に出来るんじゃないかなと思います。

これをプロジェクトを通じて、サーフィンの皆さんと接点が出るのは相当でかいです。今まで鴨川市はサーフィン発祥の地と言われながら、残念ながら行政は積極的に関わってきたことは今までオリンピック誘致くらいしか無い。ところが、この先はサーフィンを地域資源として稼げる所は稼ごう、そしてサーフィンの人たちとも一緒に大会誘致とか戦略的に回していこうという機運が生まれてきているのは非常に大きなことだと思いますし、それを核としてサイクリングもそうですし、しっかり戦略的にスポーツコミッションなり支援をすることをやっていけばまさにスポーツビジネスとして成り立つ。

そうなれば、ただ補助金をバンバン投入してスポーツ施設を維持する、スポーツコミッションを維持するというのではなくて新たな自走した形でスポーツをしっかりとビジネスという形で。ビジネスとなれば、当然市民のためのスポーツ、子どもたちのためのスポーツをもっと充実できるかもしれないという土壌も生まれるので、ぜひこの両輪を大切にしながら市としてはやっていきたい。そしてスポーツコミッションを続ければいいんじゃないかと考えています。

## 2. 閉会

### 【花山委員】

時間も過ぎましたので承認頂くという形でよろしいでしょうか。

(拍手)

17時00分 終了

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をしました。

平成31年3月15日

会議録署名人 氏名 森谷 宝子